

2018 年度通常総会報告

6月16日(土)に西宮市男女共同参画センターで第17回通常総会を開催しました。正会員総数35人のうち30人が出席(書面議決16人含む)。以下の3つの議案について審議し、全ての議案が可決承認されました。

なお事業報告・会計報告は都市生活コミュニティセンター(以下、TCC)のウェブサイト(<http://www.toshiseikatsu.net/npo/>)にて全文を掲載しています。



◆第17回通常総会議案

- 第1号議案 2017年度事業報告及び活動計算承認の件
- 第2号議案 2018年度事業計画及び活動予算決定の件
- 第3号議案 定款改定の件

◆2017年度会計報告

2017年度は3期連続の赤字を計上しました。要因として、①パンセ事業の立ち上げに伴う初期投資、②パンセ事業の入居者・利用者獲得の遅れ、③あしすと事業の収益悪化、が挙げられます。パンセ事業は遅ればせながら改善目標に到達しつつあり、2018年度は訪問介護事業の集約と合わせて、最終損益での黒字転換を実現します。

◆2018年度計画のあらまし

◎パンセプロジェクト(サービス付き高齢者向け住宅と小規模多機能型居宅介護)

都市生活コミュニティセンターとしては初めての地域密着型サービスの取り組みであり、様々な試みを重ねながら運営してきました。サービス付き高齢者向け住宅との連携と、「通い」「宿泊」「訪問」のサービスを柔軟に提供することで、常に状況が変化する利用者に合わせてケアの提供に努めてきました。(定員12人・登録利用者8人から開始し、2018年10月末現在定員24名登録者23名)。

◎介護保険事業

訪問介護事業は2018年度の制度改定で生活援助の介護報酬切り下げが始まります。このため経営状況の厳しい「あ・し・す・と」「あしすと神戸北」の2事業所を廃止し、経営資源を武庫之荘へ集約し、パンセ事業の強化と訪問介護事業の整理縮小により、法人全体の経営状況の改善を目指します。

◎ボランティア部門

地域でのボランティアの取り組みとして、「ふれあい喫茶」「ミュージックセラピー」「カフェボンジュール」などの活動を行います。社会的課題に関する学習会・講習会を生活クラブ都市生活とも連携して開催していきます。セルフケアの活動では「シャンシャンの会」の活動を継続していきます。

◆定款改定について

- ①事務所の神戸市から尼崎市(パンセ武庫之荘建物内)への移動、②介護保険制度改定に伴う事業内容の変更、③NPO法改定に伴う損益計算書の公告手段の制定、についての改定を行いました。

◎TCC役員:2018年は役員改選のない年で、引き続き下記のメンバーが役員を担います。

理事:林佳子、佐々木京子、池田啓一、岡部眞紀子、角田学、福田和昭、山下尚子、川渕克枝、監事:王隠堂政見、石川雅可年

(TCC事務局長・福田和昭)

介護職員初任者研修を実施しました。

今年2月から7月まで都市生活コミュニティセンター（TCC）が主催して、「介護職員初任者研修」を実施しました。高齢者介護職員として正式に仕事に就くために求められる資格を得るためのものです。

◆研修を開催した意図

TCCでは尼崎市武庫之荘地区で「パンセ武庫之荘」「あしすと武庫之荘」という高齢者介護事業所を運営しています。当法人として直接、研修会を開催し、私たちなりの思いを直接伝え人材を育てることにしました。

◆研修の経過

講義編では地元兵庫で長年にわたって高齢者介護の活動・事業に関わってこられた名だたる方々が講師を引き受けてくれました。また、演習・実務編では当法人の実務を中心的に担うメンバーが自ら思いを込めた研修を実施しました。2～7月まで毎週一回、丸一日の研修が延べ22日間続きましたが、皆さん無事修了出来ました。

◆研修の成果

研修最後の振り返りの場では、参加者が異口同音に、「はじめは、意義のあることという理解はあったもののもう一歩自分が直接関わるという確信が持てていなかったが、様々な講義・演習を経る過程で、確かなものをつかむことが出来、前向きな気持ちになれた」という趣旨の感想を語りました。頭での理解からさらに突っ込んで「腑に落ちた」というところでしょうか。

その後、修了者の過半が実際に「パンセ武庫之荘」「あしすと武庫之荘」で働き始めています。TCCとしての高齢者介護事業にかける思いを共有してくれているメンバーが多数参加してくれたことが今回の研修の一番の成果です。（寺嶋英介）



パンセ武庫之荘 活動の様子

8月29日(水) パンセ武庫之荘でハーモニーが初めてミュージックセラピーのセッションを行いました。

対象者はパンセ入居者13人・小規模多機能ショートステイ利用者1人の計14人とメンバー5人で夏の終わりを汗だくになりながら盆踊りで発散、お盆に因んでお一人ずつ故郷をお聞きすると懐かしさのあまり

涙される方もおられました。初めてのセッションでしたが、一人の男性は「また明日おいで」などと言って下さり、皆さんも「楽しかった～また来てね」と仰って下さったり、嬉しい(*≧▽≦*)限りです。対象者のお一人の様子を



「故郷」を歌いながらスカーフをゆったりと揺らしている

「1時間ずっと座って参加していたのでビックリ！凄いね」と娘さんから帰る間に伝えて頂きました。ここへは年4回、季節ごとぐらにお伺いさせていただこうと思います。

（ハーモニー・岡部眞紀子）